

■ 堺市、林原美術館、多摩美術大学との2大連携イベント ■

超高精細デジタル化技術で貴重な文化財を可視化
～ 『大坂画壇』『平家物語絵巻』『唐招提寺金堂』のデジタル画像を上映～

関西大学 VOLCANO プロジェクト（浪花大阪の文化的資源の発掘と展示を行う学内連携プロジェクト：project for Visualizing Original Local Contents of Arts in Naniwa-Osaka）は、堺市、林原美術館、多摩美術大学と連携して、超高精細デジタル化技術を用いて貴重な文化財を可視化し、広く一般市民の皆様にご覧いただける2つのイベント「淀川今昔明日ものがたり 堺編 Part I」「最新のデジタル技術で巡る奈良・平安の歴史－平家物語絵巻・唐招提寺金堂の彩り－」を開催します。

VOLCANO プロジェクトではこれまで、『浪花及澁川沿岸名勝図巻』『平家物語絵巻第11巻上および中』『大坂画壇』といった淀川に関する文化・芸術資源を最新のIT技術を駆使しながら超高精細デジタル化して、一般の方々に鑑賞いただく公開イベント「淀川今昔明日ものがたり」を過去3回開催してきました。「芸術」「水」「川」をテーマに、時と場所を繋ぎ、人それぞれの場所・町への愛着を掘り起こし、地域活性と信頼の醸成に寄与することを目的としています。

今回のイベント「淀川今昔明日ものがたり 堺編 Part I」は、堺市と林原美術館の協力を得て、3月5日（土）13:00から堺市・さかい利品の杜にて開催します。「堺から始まる京への旅」をテーマに、中谷伸生文学部教授の講演を交えて、大坂画壇の巨匠・大岡春卜の名品『浪花及澁川沿岸名勝図巻』や江戸期の奇才・木村兼葭堂の作品などの超高精細デジタル画像を皆様にお楽しみいただけます。

一方、「最新のデジタル技術で巡る奈良・平安の歴史－平家物語絵巻・唐招提寺金堂の彩り－」は、多摩美術大学と林原美術館の協力の下、3月12日（土）～14日（月）の3日間、グランフロント大阪・ナレッジキャピタルにて開催します。本イベントでは、VOLCANOプロジェクトによる『平家物語絵巻第11巻上および中』（林原美術館所蔵）の超高精細デジタル画像と、多摩美術大学による『唐招提寺金堂』の色彩豊かなデジタル画像を、解説会や朗読会を交えてお楽しみいただけます。

つきましてはご多忙の折恐縮ですが、貴重な文化財と最新デジタル技術が融合した本イベントに関しまして、周知・取材のご検討をお願い申し上げます。

記

【淀川今昔明日ものがたり 堺編 Part I】

日時 3月5日（土）13:00～15:00
場所 さかい利品の杜（堺市堺区宿院町西2-1-1）

【最新のデジタル技術で巡る奈良・平安の歴史－平家物語絵巻・唐招提寺金堂の彩り－】

日時 3月12日（土）～14日（月）11:00～18:00
場所 グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル The Lab.2階 ACTIVE Studio
（大阪市北区大深町3-1）

※詳細は次頁をご参照ください。

以上

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel. 06-6368-1131 Fax. 06-6368-1266
www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。



■ 関西大学 VOLCANO プロジェクト主催イベント 開催概要

【淀川今昔明日ものがたり 堺編 Part I】

1 概要 元禄の日本を代表する大坂画壇の巨匠・大岡春卜。彼は、堺から京都までを旅し、その風景を絵にしていきました。春卜の名品『浪花及澁川沿岸名勝図巻』は、日本絵画における市民性の始まりを示すものとされ、貴重であり、また楽しい作品です。本イベントでは、大岡春卜に加え、江戸期の奇才・木村兼葭堂の作品などを、超高精細デジタル画像で皆様にお楽しみいただきます。

2 日時 3月5日(土) 13:00 ~ 15:00

3 場所 さかい利晶の杜(堺市堺区宿院町西 2-1-1)

4 対象 どなたでも可

5 事前申込 必要(定員70名、先着順)

【申込方法】 件名を「3月5日今昔明日ものがたり参加希望」として、①氏名②所属③メールアドレス④電話番号を明記の上、kenkyushien@ml.kandai.jp宛にメールにて申し込みください。(定員に達し次第受付を終了させていただきます)

※事前告知記事を掲載いただける場合は、お問い合わせ先までご連絡願います。

6 参加費 無料

7 プログラム

挨拶 堀 雅洋(関西大学総合情報学部 教授)

「VOLCANO プロジェクトとは？」林 直保子(関西大学社会学部 教授)

「超高精細デジタル画像とは？」林 武文(関西大学総合情報学部 教授)

講演 「大岡春卜《淀川絵巻》～堺から京までの風景と大坂画壇～」

中谷 伸生(関西大学文学部 教授)

【最新のデジタル技術で巡る奈良・平安の歴史ー平家物語絵巻・唐招提寺金堂の彩りー】

1 概要 関西大学 VOLCANO プロジェクトでは、林原美術館が所蔵する絵巻物『平家物語絵巻』の「第11巻上および中」を、最新の超高精細デジタル化技術を用いて可視化することに成功しました。緻密に描き込まれた名場面を自由に拡大しながら作品の迫力を感じることができます。また多摩美術大学では、『唐招提寺金堂』の彩色に注目し、「平成の大修理」の調査で描かれた絵画記録と彩色が残る部材を組み合わせたデジタル画像を制作。インタラクティブな操作により天平の部材と平成の調査記録を比較・拡大いただけます。

2 日時 3月12日(土)~14日(月) 11:00 ~ 18:00

3 場所 グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル The Lab.2階 ACTIVE Studio
(大阪市北区大深町 3-1)

4 対象 どなたでも可

5 事前申込 不要

6 参加費 無料

7 解説会・朗読会

3月12日(土)・13日(日)

13:30 ~ 14:00 「唐招提寺金堂ーよみがえる天平の彩りー」

淵田 雄(多摩美術大学美術館 学芸員)

14:00 ~ 14:30 「平家物語絵巻ー激動の時代を振り返るー」

浅利 尚民(林原美術館 学芸課長)

14:30 ~ 14:50 朗読「平家物語にまつわる語り」

植田 聖子(ナレーター、元NHK ラジオアナウンサー)

※取材をご希望の方は、お手数ですが前頁お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

以上